

11 月

Masato TANAKA

蛇口の水から体温を奪う冷たい水が流れるようになりました。食器洗い後の冷え切った手をタオルでそっと拭いて、次からはお湯を出そうかな？なんて考えつつ、ニースの冬を感じています。学校帰り、アパートのエレベーターでバッタリご近所さんと会うと、決まって「寒いね、冬が来たね」という会話になります。そうです。ニースは寒いですが、冬が来ました。

体を温めるために、鍋でグツグツと煮込むタイプの料理を作る日々です。大活躍の具材はジャガイモ。ゴロゴロと袋に詰まった5kgのジャガイモは4ユーロほどで買えます。持って帰るには気合が必要ですが、毎日使うので覚悟を決めてスーパーのカゴに放り込みます。すでに3袋は消費しました。なんにでも使えます。フランス生活の心強い味方です。ヨーロッパの雄大な大地が生み出す宝石です。ありがとう。ジャガイモ。

【フランスの食事】

さて、このまま食材の話題に入ります。健康を気にする僕が好きな言葉があります。

**「Une pomme par jour éloigne le médecin
(一日一個のリンゴで医者いらず)」**

リンゴが赤くなると、医者は青くなるとのこと。

近所の八百屋さんにはたくさんの種類のリンゴが売られています。それぞれ色味や形が違って、甘味の癖や酸味、触感などに特徴があって食べ比べが楽しいです。比べるのが趣味で、健康志向の僕にとって、選び放題で栄養たっぷりのリンゴは最高の食材です。

青リンゴがとてもお気に入りです。強めの酸味が癖になります。もはや酸っぱいです。日本ではあまり見ない鮮やかな緑色の姿も好きなポイントです。フランスのリンゴは日本のリンゴよりも一回り小さいものが多いので、ポケットにも丸ごと楽に入れることができます。(持ち歩くリンゴは、手が汚れないように果汁が少なめの種類を選ぶと good です。)



大好きなリンゴたち

【フランス旅行：学生証は魔法のカード】

フランス学生生活3か月目、ついにフランスの首都パリに旅行に行きました。私が住んでいるニースからは夜行列車でほぼ12時間。とても長い道のりです。電車やバスは交通費を大幅に抑えることができるので、積極的に利用したいところです。リンゴをポケットに入れておけば長旅も乗り越えられます。

パリという場所は恐ろしいもので、街のいたるところに魅力が潜んでいます。あまり長く滞

在できなかったのでジックリたっぷりと楽しめていないのですが、また時間を見つけて必ず訪れたいと強く強く思いました。

パリのみならずフランスには、魅力的な美術館や博物館、展示会などが溢れています。驚くことに、学生証を見せることで、無料で見学できるミュージアムが多くあります。学生証は魔法のカードですね。

アート系、デザイン系の学校の学生証は魔法の力が強く、一般の学生よりも優遇されることが多々あるので私は幸せラッキーです。世界的に有名なルーブル美術館も例外ではなく、学生証さえあれば無料で見学が可能です。(EU 在住という条件が付いているので、あくまで留学特典としてご紹介します。)



ルーブル美術館前にて
かじりかけのリンゴと

情報を手に入れる力があれば、フランスでの生活は何倍も充実したものになります。学校での学びはもちろん大切ですが、異国に住んで生活する中での体験や、旅行先での体験もとても有意義なものです。ただ生活をする、ただ遊ぶだけではなく、様々な情報をかき集めて、限られた時間をより豊かにするために努力する日々が大切だと感じています。いろんな経験を積んで日本に帰りたいですね。(私は留学から帰りたくないです。。。)

【難しい課題】

現在取り組んでいるプロジェクトの大きなテーマは「HUMAN CONNECTION」です。住んでいる場所や年代の違い、言語など人間が抱える様々なギャップを埋めて、人と人のつながりを生み出す。デザインする。とても広くて大きなテーマを持った課題です。個人課題ではなく、15人ほどのグループでこの課題に取り組んでいるので、リサーチやアイデアのやり取りなどは英語で行われます。

日本語の脳でモノを考えるとときと比べて英語を使うとなると、どうしても浅い思考で止まってしまう感覚があります。より深く考えることが難しいのです。英語の世界では、自分の奥深くまでまだ潜れない、という感じでしょうか？英語でのコミュニケーションやリサーチが難しいのではなく、“デザイン”という深い思考を使った行為を英語で行うことが難しい、なんとも説明し難い感覚です。難しいとは言っても全くできない訳ではないので、時間をかけて取り組んでいます。

いろいろありますが、日々楽しく、学校生活を送ることができています。次学期の最終課題は個人課題なので、この問題と直面することなく自分とデザインと向き合えそうです。一人でデザインを考える分にはアウトプットだけ英語で行うだけでいいので、ゆっくりじっくりデザインと向き合うことができます。

とにかく今は頑張るのみです！